

事業事前評価表

国際協力機構中東・欧州部欧州課

1. 案件名 (国名)

国名：アルバニア

案件名：救急医療機材改善計画

(The Project for the Improvement of the Medical Equipment of the Regional Level Emergency Centers)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健医療セクターの現状と課題

アルバニアの公的保健医療サービスは病院によるサービスとプライマリー・ヘルスケアに分類される。同国の主要死因は、プライマリー・ヘルスケアの拡充によりかつての予防可能な感染症から、ここ 10 年は循環器系疾患や交通事故が増えており、患者により近い所での迅速な診断と治療を行う救急医療サービスの需要は高まっている。しかし、地方においては救急医療体制の中核である地域・地区病院について、救急車や同乗する医師、看護師はいるものの、救急車の老朽化や搭載機材の不足が問題となっている。加えて病院においても救急医療機材の老朽化と不足により診断・治療ができず、首都のマザー・テレサ総合病院に重篤な患者を搬送せざるを得ない。首都においては近年の人口増加や乗用車増加による交通事故多発により、救急患者が増加している一方、病院の救急医療機材の老朽化や不足、地方からの搬送患者によりサービス提供が需要に追いつかない状況である。また、地方と同じく救急車の老朽化や搭載機材の不足が問題となっている。

(2) 当該国における保健医療セクターの開発政策における本事業の位置づけ

アルバニアは 2007 年「国家開発統合戦略」を策定し、社会経済開発を優先事項の一つとして、特に保健医療体制の整備と質の高い保健医療サービスの提供の必要性を強調している。また 2004 年には「アルバニア保健システム発展の長期戦略」を策定し、救急医療体制の構築及び救急センターの整備を急ぐ方針を示した。さらに 2007 年 6 月には「救急医療システム整備戦略」を策定、救急医療サービスの体制整備や地域病院救急部門の整備等を目標に定めており、本事業は右整備戦略の一環と位置づけられる。

(3) 保健セクター(医療分野)に対する我が国及び JICA の援助方針と実績

本事業は、アルバニアへの援助重点分野となっている「医療・教育」に位置づけられており、機材の整備というハード面の支援と研修事業等のソフト面での支援を有機的に絡ませるという方針に基づき、以下の協力実績がある。

- ・「ティラナ大学付属マザー・テレサ小児科病院医療機材整備計画」(2000 年度) 3.92 億円
- ・「南部地域病院医療機材整備計画」(2004 年度) 2.33 億円
- ・課題別研修(「病院運営管理」、「中・東欧地域病院経営・財務管理」等)

(4) 他の援助機関の対応

イタリア開発協力庁がシュコドラ県病院、プケ地区病院を対象に医療機材の調達、救急車の搭載機材の改善等を実施している。保健医療サービスの改善についてはスウェーデン国際開発協力庁が地域病院に対する医療機材のマネジメントとメンテナンスの向上等を、USAID が 5 県を対象地域としてサービスの質の向上、財政マネジメント等を目的とした支

援を実施している。本事業において他の援助機関の支援との重複はない旨、確認済み。

3. 事業概要

(1) 事業の目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）

地方にある地域・地区病院、首都の総合病院と救急搬送センターにおいて、救急医療機材の整備を行うことにより、早期診断治療を可能にし、救急救命率の向上を図る。なお、本事業は、医療・教育サービス向上プログラムに位置づけられる。

(2) プロジェクトサイト

アルバニア国内 10 か所の地域病院、2 か所の地区病院、マザー・テレサ小児科病院、ティラナ救急搬送センター。裨益対象はアルバニア全国の約 320 万人。

(3) 事業概要

- 1) 土木工事、調達機器等の内容：救急車や救急車搭載機材、救急医療機材等の調達
- 2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計・調達管理/予防メンテナンスシステムに係る研修

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 7.3 億円（概算協力額（日本側）：7.18 億円、アルバニア側：0.12 億円）

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2010 年 2 月～2011 年 11 月を予定（計 22 ヶ月。詳細設計、入札期間を含む）

(6) 事業実施体制

主管官庁：アルバニア保健省

実施機関：アルバニア保健省政策計画局

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

- ① カテゴリ分類：C
 - ② 影響と緩和・軽減策：特になし
- 2) 貧困削減促進：特になし
 - 3) ジェンダー：特になし

(8) 他援助機関等との連携・役割分担

特になし。

(9) その他特記事項

特になし。

4. 外部条件・リスクコントロール

(1) 事業実施のための前提条件

本事業対象の病院のうち 6 箇所において X 線室の放射線漏洩防御に係る改修工事が必要となる。右費用については保健省が事業実施工程に合わせて適切な予算を確保することに合意している。

(2) プロジェクト全体計画達成のための外部条件

特になし。

5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

「ティラナ大学付属マザー・テレサ小児科病院医療機材整備計画」、「南部地域病院医療機材整備計画」において調達された医療機材は、問題発生後は適正に対応がなされているものの、アルバニアにおいては機材の「予防メンテナンス」に係る意識が低い。そのため本事業では機材がより長期間、よい状態で使用されるように予防メンテナンスシステムに係る研修を実施する。

6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

本事業は2.(2)に記載したアルバニア開発計画とも合致しており、また、首都・地方のいずれにおいても救急車、救急車搭載機材及び救急医療機材が老朽化、不足しているために迅速な治療及び診断を含む救急医療サービスが提供できていない同国においては、必要な医療機材を調達し、救急医療体制の構築を支援することは緊急性が高い。

(2) 有効性

1) 定量的効果

指標名	基準値 (各基準年)	目標値 (2014年) 【事業完成3年後】
患者からの救急車出動依頼件数(首都(ティラナ救急搬送センター))	16,429 (2008年)	増加
患者からの救急車出動依頼件数(地方の地域・地区病院)	56,255 (2008年)	増加
地域・地区病院での救急患者受け入れ数	165,710 (2008年)	増加
ティラナ小児科病院救急手術室での手術件数	0 (2009年)	増加

2) 定性的効果

救急車、救急車搭載機材の整備、救急医療機材の整備を通じ、アルバニアの救急医療を担う対象施設の救急医療サービス機能が向上する。

7. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6.(2)1)のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

・事後評価 事業完成3年後

以 上